

畑作・野菜・花き生産情報 第6号（要約版）

令和6年9月19日
青森県「農林水産力」強化本部

- ◎ 共通事項：台風や大雨に備え、ほ場や施設周辺にある排水溝の点検や整備のほか、施設への雨水流入を防ぐために土のうを設置するなどの浸水対策を徹底しよう！
- ◎ 大豆は、適期収穫に向け準備を進めよう！
- ◎ 小麦は、ほ場の排水対策と土づくり、適期は種で越冬前の生育を確保しよう！
- ◎ ながいもの生育はおおむね順調です。にんにくは適期に植え付けしよう！
- ◎ 秋ギクの生育はおおむね順調です。収穫まで適正な温度管理を徹底しよう！

○ 大豆

- 1 生育は順調で、平年に比べおおむね草丈はかなり～大幅に長く、1本当たりの稔実莢数は平年並～かなり多くなっている。食葉性害虫による食害やべと病、立枯病の発生が見られる。
- 2 立枯病発病株を確認したら、速やかに抜取りを行い、ほ場外で処分する。
- 3 台風や大雨などでほ場に滞水しないよう、排水対策を徹底する。
- 4 汚粒の原因となる雑草や青立ち株を抜取り、適期収穫に向け準備を進める。

○ 小麦

- 1 紅色雪腐病の防除のため、薬剤による種子消毒を行う。
- 2 土壌pH6.0以下では生育が悪くなるので、苦土石灰等で酸度矯正する。
- 3 明きよや弾丸暗きよ、心土破碎などの排水対策を必ず実施する。
- 4 は種作業は9月25日頃までに終え、越冬前の生育量を確保する。

○ ながいも

- 1 地下部の生育は、地域やほ場によるバラツキは見られるものの、順調である。
- 2 病虫害は、葉渋病、炭そ病の発生やナガイモコガ、コガネムシ類の食害が見られる。
- 3 採種ほ場では、ウイルス病株の抜取りや、媒介するアブラムシ類の防除を徹底する。
- 4 台風や大雨に備え、ネットや支柱の補強、明きよなどによる排水対策を徹底する。

○ にんにく

- 1 種苗増殖の専用ほ場を設置して、JA等から購入した優良種苗を植え付ける。
- 2 植付作業は、気象情報を参考に遅れないよう計画的に進め、10月上旬までに終える。
- 3 黒腐菌核病やチューリップサビダニ等の病虫害防除のため、必ず種子消毒を行い、被害種子は絶対に植付けしない。

○ 秋冬だいこん

- 1 茎葉はおおむね平年並であるものの、8月の日照不足により根重は平年を下回っている。
- 2 キスジノミハムシ、アブラムシ類等の病害虫の早期発見・早期防除に努める。

○ 秋にんじん

- 1 茎葉はおおむね平年並であるものの、8月の日照不足により根重は平年を下回っている。
- 2 黒葉枯病、ヨトウムシの早期発見・早期防除に努めるとともに、試し掘りを行い、適期に収穫する。

○ ごぼう

- 1 草丈は平年を上回り、葉数は必要枚数を確保しており、生育は順調である。
- 2 黒斑細菌病などの防除に努める。

○ 夏秋トマト

- 1 生育はおおむね順調である。
- 2 9月下旬以降は、裂果防止のため、かん水を控え、追肥は中止する。
- 3 灰色かび病、葉かび病、うどんこ病、タバコガ類、コナジラミ類等の病害虫の防除を徹底する。

○ 秋ギク

- 1 生育は、おおむね順調で、害虫は、アザミウマ類、ヤガ類、ハダニ類が散見される。
- 2 日中25℃以下、夜間15℃を目標に温度管理を行い、病害虫の早期発見・早期防除に努める。
- 3 わき芽は、小さいうちにかき取り、花首の伸びやすい品種を栽培している場合は、ビーナイン顆粒水溶剤等を散布する。
- 4 2～3分咲きを目安に採花する。

○ 夏秋ギク

- 1 親株養成に切り下株を利用する場合は、日当たりと排水の良いハウスを選ぶ。
- 2 伏せ込みは、病害虫の被害が無い健全株を選び10月下旬までに行う。

※農なび青森 (<https://www.nounavi-aomori.jp/>) に本文を掲載しています。

◎『日本一健康な土づくり運動』展開中 ～元気な作物は健康な土が育みます～

◎農薬を正しく使いましょう。

◎食中毒を防ぐため、生産段階から「野菜の衛生管理」に努めましょう。

◎備えあれば、憂いなし！ 農業保険を活用しましょう！

◎秋の農作業安全運動展開中です。（9月1日～10月31日）

◎ツキノワグマ出没警報発令中!!（6月25日～11月30日）

◎環境にやさしい農業に取り組んで、みどり認定を受けましょう。

☆青森県総合防除計画を策定しました☆

県では、植物防疫法に基づく国の「総合防除基本指針」に即して、化学農薬のみに頼らない病虫害防除を行うための計画「青森県総合防除計画」を定めました。農作物の高品質生産とコスト低減に向けて、みんなで総合防除に取り組みましょう。



<https://www.nounavi-aomori.jp/farmer/archives/8140>

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(畑作) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ 総括主幹 木村一哉
電話番号	(畑作) 直通 017-734-9480、内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9481、内線 5076
報道監	農林水産部 次長 栗林豊 内線 4967